

作成日 2015年 5月 20日

改訂日 2024年 4月 1日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : ナメクリン3
供給者の会社名称, 住所及び電話番号
会社名称 : サンケイ化学株式会社
住所 : 〒110-0005 東京都台東区上野7丁目6-11 (第一下谷ビル)
担当部門 : 開発部
電話番号 : 03-3845-7951
FAX番号 : 03-3845-7950
緊急連絡先 : 同上
整理番号 : B - 145
推奨用途及び使用上の制限 : 農薬

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類
物理化学的危険性 : 可燃性固体 : 区分に該当しない
健康に対する有害性 : 急性毒性(経口) : 区分に該当しない
急性毒性(経皮) : 区分に該当しない
急性毒性(吸入) : 分類できない
皮膚腐食性/刺激性 : 区分に該当しない
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 区分に該当しない
呼吸器感作性 : 分類できない
皮膚感作性 : 区分に該当しない
生殖細胞変異原性 : 分類できない
発がん性 : 分類できない
生殖毒性 : 分類できない
特定標的臓器毒性(単回ばく露) : 分類できない
特定標的臓器毒性(反復ばく露) : 分類できない
誤えん有害性 : 分類できない
環境に対する有害性 : 水生環境有害性 短期(急性) : 区分に該当しない
水生環境有害性 長期(慢性) : 区分に該当しない

上記に記載がないものは、「区分に該当しない」か「分類できない」である。

GHSラベル要素

絵表示 : 該当しない
注意喚起語 : 該当しない
危険有害性情報 : 該当しない
注意書き : P101 医学的な助言が必要なときには、製品容器やラベルをもっていくこと。
P102 子供の手の届かないところに置くこと。
【安全対策】
P270 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
P280 保護手袋を着用すること。
【応急措置】
P314 気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。
【保管】
P402+P404 乾燥した場所で密閉容器に保管すること。
P410+P403 日光から遮断し、換気の良い場所で保管すること
【廃棄】
P501 内容物/容器の廃棄は地域の規則に従い行うこと。

作成日 2015年 5月 20日

改訂日 2024年 4月 1日

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

化学名又は一般名	含有量
2, 4, 6, 8-Tetramethyl-1, 3, 5, 7-tetraoxacyclooctane (一般名: メタアルデヒド)	3.0%
穀粉 等	97.0%

化学名又は一般名	含有量	CAS No.	化管法 管理番号	官報公示整理番号	
				化審法	安衛法
メタアルデヒド	3.0%	108-62-3 [9002-91-9]	—	2-484	2-(8)-378
Copper phthalocyanine	0.1~0.2%	147-14-8	—	5-3299 5-5216 5-3300 5-3299	—

4. 応急措置

- 吸入した場合 : 直ちに空気の新鮮な場所に移動し、身体を毛布等で覆い保温し安静に努める。意識がある場合、多量の水、温水又はうがい薬を用いてうがいをする。異常が続く場合は、速やかに医師の手当てを受けること。
- 皮膚に付着した場合 : 直ちに多量の水と石けんでよく洗うこと。異常があれば速やかに医師の手当てを受けること。作業後は衣服等を交換し、着用していた衣服は他の物と分けて洗濯すること。
- 眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。
- 飲み込んだ場合 : 意識がある場合、多量の水を飲ませるなどして吐き出させ、直ちに医師の手当てを受けること。患者に意識がない場合やけいれんを起こしている場合は、吐かせないで直ちに医師の手当てを受けさせること。2~5%の重炭酸ナトリウム溶液で胃洗浄を行う。胃洗浄は摂取後 8~12 時間までに行うのが望ましい。重篤な中毒の場合、胃洗浄は何度も繰り返さなければならない。胃ゾンデを使用して活性炭を投与する。緩下剤として硫酸ナトリウムを投与する。尿を弱アルカリ性に保たせるため、重炭酸ナトリウムの投与によりアシドーシスを治療する。抱水クロラール、クロナゼパム、ジアゼパムで激しい腹痛を治療する。大部分の場合、腹痛は治まる。昏睡状態では呼吸低下の危険性があるので、直ちに気管挿入と人工呼吸の必要がある。加温治療は適宜行う。ミルクの投与は、メタアルデヒドの吸収を高めるため避ける。

5. 火災時の措置

- 適切な消火剤 : 水噴霧、耐アルコール泡消火剤、粉末消火剤
- 火災時の特有の危険有害性 : 粉じんの生成を避ける。空気中に十分な量の微細粉じんが分散しており着火源が存在すると粉じん爆発の危険がある。加熱または火災により有毒ガスが発生する。
- 有害燃焼副産物 : 炭素酸化物 (COx)

作成日 2015年 5月 20日

改訂日 2024年 4月 1日

- 特有の消火方法 : 速やかに火元への燃焼源を断ち、消火剤を用いて消火する。
容器及び周辺に散水して冷却する。
消火作業は風上から行う。
- 消火を行う者の保護 : 火災時には、自給式呼吸器を着用する。
保護具を使用する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 保護具を使用する。
粉じんの発生を避ける。
- 環境に対する注意事項 : 漏出物を直接、河川や下水に流してはいけない。
河川、養殖池等に流れ込まないように注意すること。
- 封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 粉じんを発生させないように留意して回収し、廃棄する。
シャベルを使って適切な容器に入れ、処分する。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い 技術的対策 : 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
- 安全取扱注意事項 : ラベルをよく読む。記載以外に使用しない。
取扱いは換気の良い場所で行い、作業場の換気は十分行う。
取扱場所の近くに、緊急時に洗眼及び身体洗浄を行うための設備を設置する。
屋外での取扱いはなるべく風上から作業する。
取扱いの都度、容器を密閉する。
眼、皮膚、衣類に付けないこと。
保護手袋及び保護眼鏡／保護面を着用すること。
高温、火気の近くで取扱ってはならない。
- 局所排気・全体排気 : 「8. ばく露防止及び保護措置」を参照
- 接触回避 : 強酸と強アルカリ
酸化剤
- 衛生対策 : この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする事。
- 保管 安全な保管条件 : 容器を密閉しておくこと。
換気のよい場所で保管する。
電気設備及び作業資材は技術安全基準に準拠していなければならない。
製品の品質を維持するため、高熱、直射日光を避けて保管する。
- 安全な容器包装材料 : 国連輸送法規で規定されている容器を使用する。

8. ばく露防止及び保護措置

- 許容濃度
- 設備対策 : 屋内で取扱う場合には、全体換気装置を設置する。
できるだけ密閉された装置、機器又は局所排気装置を使用する。
取扱場所の近くに洗眼及び身体洗浄のための設備を設ける。

保護具

- 呼吸用保護具 : 農業用マスク
- 手の保護具 : 保護手袋
- 眼、顔面の保護具 : 保護眼鏡
- 皮膚及び身体の保護具 : 長ズボン・長袖の作業衣など

作成日 2015年 5月 20日

改訂日 2024年 4月 1日

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	: 粒状
色	: 暗青色
臭い	: 無臭
融点／凝固点	: 情報なし
沸点又は初留点及び沸騰範囲	: 情報なし
可燃性	: 情報なし
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界	: 情報なし
引火点	: 情報なし
自然発火点	: 299℃
分解温度	: 情報なし
pH	: 6.9 (20℃)
動粘性率	: 情報なし
溶解度	: 情報なし
n-オクタノール／水分配係数(log 値)	: 情報なし
蒸気圧	: 情報なし
密度及び／又は相対密度	: 情報なし
相対ガス密度	: 情報なし
粒子特性	: >0.850mm

10. 安定性及び反応性

反応性	: 指示通りに保管または使用した場合は、分解することはない。
化学的安定性	: 通常の使用では安定
危険有害反応可能性	: 情報なし
避けるべき条件	: 熱
混触危険物質	: 強酸と強アルカリ 酸化剤
危険有害な分解生成物	: 指示通り使用すれば分解しない。

11. 有害性情報

急性毒性		
経口	: ラット >2000mg/kg	[区分に該当しない]
経皮	: ラット >2000mg/kg	[区分に該当しない]
吸入	: (製品)情報なし	
皮膚腐食性／刺激性	: ウサギ 刺激性なし	[区分に該当しない]
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	: ウサギ 刺激性なし	[区分に該当しない]
呼吸器感作性又は皮膚感作性		
呼吸器感作性	: (製品)情報なし	
皮膚感作性	: モルモット 感作性なし	[区分に該当しない]
生殖細胞変異原性	: (製品)情報なし	
発がん性	: (製品)情報なし	
生殖毒性	: (製品)情報なし	
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	: (製品)情報なし	
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	: (製品)情報なし	
誤えん有害性	: (製品)情報なし	

作成日 2015年 5月 20日

改訂日 2024年 4月 1日

12. 環境影響情報

水生環境有害性 短期(急性) : 区分に該当しない
水生環境有害性 長期(慢性) : 区分に該当しない

生態毒性

魚(コイ) : LC50 (96hr) >100 ppm
甲殻類(オオミジンコ) : 情報なし
藻類 : EC50(72hr) >1000 ppm

残留性・分解性 : 情報なし
生態蓄積性 : 情報なし
土壌中の移動性 : 情報なし
オゾン層への有害性 : 情報なし

13. 廃棄上の注意

化学品(残余廃棄物)、当該化学品が付着している汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

残余廃棄物 : 使用残りの農薬を不注意に廃棄したり、不要になった農薬を放置したりすると思わぬ事故を引き起こすことがあるので、その処理に当たっては関係法令を遵守し適正な処理を行うこと。
汚染容器及び包装 : 空容器、空袋等はリサイクルできないため、関係法令を遵守し、廃棄物処理業者に処理を委託する等により適切に処理を行うこと。

14. 輸送上の注意

国際規制 国連番号 : 該当しない
品名 : 該当しない
国連分類 : 該当しない
容器等級 : 該当しない
国内規制 陸上輸送 : 道路法等の規定に従う。
海上輸送 : 船舶安全法の規定に従う。
航空輸送 : 航空法の規定に従う。
特別の安全対策 : 輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。転倒、落下、破損がないよう積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
車両、船舶には保護具(手袋、メガネ、マスク等)を常備する他、緊急時の処理に必要な消化器、工具等を備えておく。

15. 適用法令

化学物質排出把握管理促進法 : 該当しない
労働安全衛生法 : 該当しない
名称等を通知すべき危険物及び有害物(その法第57条の2、施行令第18条の2)
銅及び化合物(政令番号:379)
毒劇物取締法 : 普通物
消防法 : 該当しない
農薬取締法 : 登録番号 第23655号

16. その他の情報

参考文献

- ・JIS Z 7252 : 2019 GHSに基づく化学物質等の分類方法
- ・JIS Z 7253 : 2019 GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法 — ラベル、作業場内の表示及び安全データシート(SDS)

作成日 2015年 5月 20日
改訂日 2024年 4月 1日

- ・独立行政法人 製品評価技術基盤機構 (NITE-CHRIP)
- ・アークサーダジャパン株式会社 SDS

この製品安全データシートは現時点で入手可能な資料等をもとに作成しておりますが、物理化学的性質、危険有害性等に関しては、いかなる保証も成すものではありません。また注意事項は、通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いを行なう場合には自らの責任において用途に適した処置を講ずることが必要であることを理解した上で活用して下さい。